

おかわり
ありませんか？

第64号

令和4年 4月8日発行

ご
か
せ

議会です！

目 次

- 令和4年度第一回定例会・・・P2
- 予算審査特別委員会報告書・・・P3～4
- 一般質問・・・・・・・・・・P6～8
- 町内巡回報告・・・・・・・・P10～11

ポチッ
としてみらんの



▲ホームページはこちら

予算審査特別委員会 審査報告書

予算審査特別委員会委員長 田中 春男

(審査の経過及び結果)

予算審査特別委員会は、令和4年3月7日から11日までの5日間開催し、付託された各議案について関係職員から詳細な説明を受けるなど、慎重な審査を行った。

その結果、すべての議案について全員一致で、次に述べる意見を付して原案を可決すべきであると決定した。

(審査意見)

1 総務課所管事業について

- (1)町財政の健全運営については、新庁舎建設等により町債が大きく増加した。起債残高と基金残高のバランスを勘案した計画的な起債により、町民への負担を強いることの無いよう望む。また、町有地、町有林の管理・活用では、売却を含めた検討を望む。
- (2)民間活力による住宅供給事業について、民間へのアピールを行い事業の促進を図られたい。合わせて、移住・定住を促進するための町営住宅建設を望む。
- (3)地域住民の生命を守るため、救急搬送業務のスピードアップを図る必要がある。広域消防本部分署の設置に向け、西臼杵広域消防事務組合と協議を開始されることを望む。
- (4)機能別消防団と現消防団との連携により、組織の充実・強化を図られたい。
- (5)旧庁舎解体後に設置される駐車場及び多目的広場等については、町民の利用しやすさを優先し検討されることを望む。

2 企画課所管事業について

- (1)第3セクター(株)五ヶ瀬ハイランド及び(株)五ヶ瀬ワイナリーの経営の健全化を図り、町民への負担軽減を図られたい。また、スキー場については、グリーンシーズン活用等の検討をお願いしたい。
- (2)コミュニティバスGラインは、小型バスによる道路の狭い小さな集落までの乗り入れを検討されたい。また、デマンド型交通については、今後実施される導入可能性調査を踏まえ導入に向けた検討をお願いしたい。
- (3)空き家の活用について、移住・定住者を増やすためにもサブリース方式も含めた検討を望む。
- (4)西日本新聞社へ委託している世界農業遺産事業について、事業の進捗状況をしっかりと注視し効果についての検証をされたい。

※ サブリース方式…アパートなどを不動産会社が持主から借り上げ、入居者に又貸しする方法

3 町民課所管事業について

- (1)町税等の滞納額は少しずつではあるが減少している。町民の公平性を保つためにも滞納の発生を抑えつつ、過年度分の徴収率の向上を図られたい。
- (2)西臼杵広域行政事務組合分担金の負担割合並びにゴミ等の収集袋の形状寸法、単価の見直しについて、西臼杵広域行政事務組合との協議を進めていただきたい。

4 福祉課所管事業について

- (1)各種の検診・予防接種等は、町民の健康を守るために必要なものである。周知を図り受診率・接種率の向上を図られたい。
- (2)社会福祉協議会運営費補助金、共生型福祉施設運営費補助金においては、町にとって重要な予算であり、補正増額することの無いよう、当初予算において予算計上すること。
- (3)敬老会助成金について、各公民館の負担を鑑み、補助額の増額を検討していただきたい。
- (4)介護給付費準備基金については、保険料を増額することの無いよう適正な活用をお願いしたい。

令和4年第1回

五ヶ瀬町議会定例会

新年度の予算が決まりました

総額

39億8800万円

3月定例会報告及び議案

3月2日から18日までの17日間の日程で開かれました。

- 専決処分の承認について 1件 (令和3年度五ヶ瀬町一般会計補正予算)
- 条例の一部改正について 6件 (五ヶ瀬町職員の育児休業等に関する条例の一部改正についてほか)
- 令和3年度五ヶ瀬町一般会計補正予算及び特別会計補正予算について 5件
- 令和4年度五ヶ瀬町一般会計予算及び特別会計予算について 7件
- 指定管理者の指定について 1件
- 町道の認定及び廃止について 1件

【主な内容】

事業名	事業費	事業内容
選挙費 (総務課)	2,894万円	町長選挙、参議院選挙、県知事選挙 県議会議員選挙(令和5年4月)に伴う費用
第三セクター運営資金補助金 (企画課)	3,650万円	(株)五ヶ瀬ハイランド、五ヶ瀬ワイナリー(株) 運営資金補助金(過疎債充当)
西臼杵広域行政事務組合負担金 (総務課)(町民課)	17,177万円	消防費 8,360万円 衛生費 8,817万円
出産祝い金 (福祉課)	130万円	第1子5万円、第2子10万円 第3子15万円、第4子以上20万円
森林施業支援事業補助金 (農林課)	1,360万円	造林、下刈、間伐、防護柵設置に対する補助
県単営農飲雑用水施設整備工事 (建設課)	4,004万円	栗の谷地区・内の口地区 営農飲雑用水施設
町史編さん業務委託 (教育委員会)	1,434万円	本町の歴史を明らかにし、貴重な歴史を後世へ 伝えていく資料作成の委託費用
バス運行委託 (企画課)(教育委員会)	3,742万円	コミュニティバス委託料2,236万円 スクールバス委託料1,506万円



第3セクター五ヶ瀬ワイナリー



森林施業支援事業



営農飲雑用水施設

令和4年第1回定例会 議決結果

種 類	議 案 名	結 果
報告第1号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度五ヶ瀬町一般会計補正予算(専決第2号))	承 認
議案第1号	五ヶ瀬町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第2号	五ヶ瀬町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第3号	五ヶ瀬町長等の給与に関する条例及び五ヶ瀬町教育長の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第4号	五ヶ瀬町職員の給与に関する条例及び五ヶ瀬町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第5号	五ヶ瀬町使用料及び手数料徴収条例の一部改正について	原案可決
議案第6号	五ヶ瀬町共生型福祉施設の設置に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第7号	令和3年度五ヶ瀬町一般会計補正予算(第6号)について	原案可決
議案第8号	令和3年度五ヶ瀬町簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)について	原案可決
議案第9号	令和3年度五ヶ瀬町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について	原案可決
議案第10号	令和3年度五ヶ瀬町国民健康保険病院事業会計補正予算(第4号)について	原案可決
議案第11号	令和3年度五ヶ瀬町介護保険特別会計補正予算(第4号)について	原案可決
議案第12号	令和4年度五ヶ瀬町一般会計予算について	原案可決
議案第13号	令和4年度五ヶ瀬町簡易水道事業特別会計予算について	原案可決
議案第14号	令和4年度五ヶ瀬町国民健康保険特別会計予算について	原案可決
議案第15号	令和4年度五ヶ瀬町国民健康保険病院事業会計予算について	原案可決
議案第16号	令和4年度五ヶ瀬町介護保険特別会計予算について	原案可決
議案第17号	令和4年度五ヶ瀬町後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決
議案第18号	令和4年度五ヶ瀬町奨学金特別会計予算について	原案可決
議案第19号	鞍岡地区複合型交流施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第20号	町道の認定及び廃止について	原案可決
発議第2号	ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議	原案可決

令和4年第1回臨時会 議決結果

種 類	議 案 名	結 果
議案第21号	五ヶ瀬町名誉町民の決定同意について	同 意

令和4年3月30日に臨時議会が開会されました。3月21日に91歳で逝去された村中眞信氏を名誉町民に選定する議案が上程され全会一致で同意しました。

同氏は、五ヶ瀬町長及び五ヶ瀬町議会議長として、本町の発展に大きく貢献されました。心より哀悼の意を表します。

■公選職歴■

自昭和56年8月1日五ヶ瀬町議会議員
至平成6年5月6日
自平成元年8月1日五ヶ瀬町議会副議長
至平成3年7月31日
自平成3年8月1日五ヶ瀬町議会議長
至平成6年5月6日
自平成6年5月29日五ヶ瀬町長
至平成14年5月28日



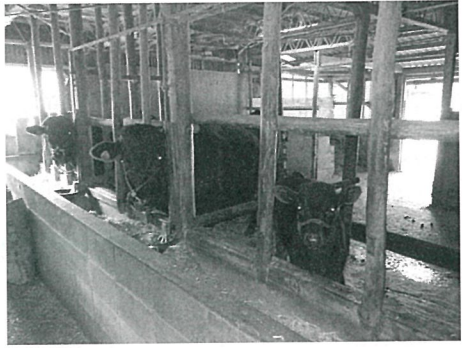
故村中眞信氏

5 農林課所管事業について

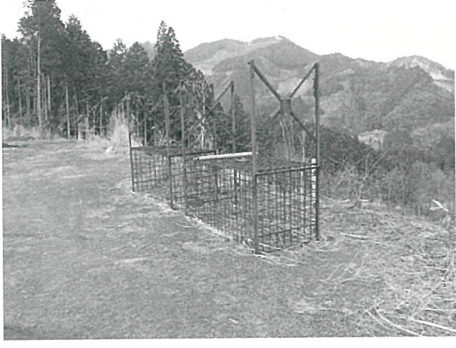
- (1)鳥獣被害防止事業関連で2,500万円程度の予算が組まれている。防護により農作物被害は減少しつつあるが、引き続き防護と捕獲に対する事業継続を望む。
- (2)畜産事業について、母牛頭数の維持・確保につながるよう、補助金の交付対象に西白杵郡共進会出場以外の牛を含むよう望む。



水道整備



畜産事業



捕獲用箱ワナ

6 建設課所管事業について

- (1)町道の草刈り等の維持管理は、高齢化・戸数減少で困難な地域が年々増加しており、町の助成が必要になってきている。道路維持費のさらなる充実を図られたい。
- (2)町道の改良については、様々な要望があると思われるが、要望が長期に渡るものも見受けられることから、早期の対応をお願いしたい。
- (3)水道の未整備地区について補助事業を活用し整備を進めていただきたい。

7 会計室について

- (1)基金については、万全を期した上で有効な運用を進めてもらいたい。

8 議会事務局について

- (1)議会用のタブレットは、平成30年11月1日から導入されたが、データ処理速度の低下や電池の消耗が激しく、機器の更新をお願いしたい。

9 教育委員会所管事業について

- (1)令和4年度で五ヶ瀬町史続編の編さんが終了する。町民に広く活用されることを望む。
- (2)教職員住宅の老朽化が進んでいるため、整備を急ぐ必要がある。建て替えについても検討を進め、教職員の生活の安定を図ることを望む。
- (3)通学路にある倒壊等のおそれがある危険な建物を調査し、子どもの生命を守る安全対策をお願いしたい。

10 国民健康保険病院について

- (1)老朽化に伴う不具合が発生しないよう、施設の設備・備品について計画的な更新を望む。また、待合室については患者が利用しやすい椅子の設置など、快適な空間づくりに努めていただきたい。

一般質問 我が町政を問う

3月の定例会では5人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。
議員の質問と町長等の答弁を集約した内容は6ページから8ページです。

※一般質問は議員が町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点をたずねること。



おがさわら まさたろう
小笠原将太郎議員

問 旧庁舎跡地の有効利用について。

町長 来庁者、公用車及び職員等の駐車場スペースとして利用することに加え、災害と有事の際の避難や車中泊スペースとして活用する。

問 高速バスの安全な停車場や乗降者が、バスが遅れたり、雨が降っているときでも安心して待てる場所を造ってはどうか。

町長 旧庁舎跡地にバスレーンを引き込んで、利用者が安全に乗降できるバスレーンの設置を検討している。

通告番号 4 **佐藤 成志議員**

- ・ふるさと応援寄付金の今後の進め方について
- ・新型コロナワクチン追加接種等の状況について

通告番号 5 **渡邊 孝議員**

- ・災害時等に倒壊や屋根材が飛散する恐れのある古い建物に対する町の考えは
- ・鞍岡複合型交流施設の今後の活用と将来的な方向性は

通告番号 1 **太田 保義議員**

- ・成年年齢の引き下げによる成人式の開催について
- ・成年年齢の引き下げによる消費者教育等の今後の教育方針について
- ・新庁舎の今後の維持管理について
- ・議会図書室について

通告番号 2 **小笠原 将太郎議員**

- ・旧庁舎跡地の有効利用について

通告番号 3 **甲斐 義則議員**

- ・農業経営支援について

問 コンビニエンスストアなど住民の利便性の向上や若者の定住につながる施設のために跡地を利用してはどうか。諸塚村には、去年、ファミリーマートが九州で初めて村に新店舗が出店したが、町として誘致はしないのか。



町長 近年の災害の多くが大雨による増水により被害が甚大になっていますが、三ヶ所川に面する跡地は危険ではないか。小学校、中学校やGパークを有する災害時には活用したほうが安全だと思うが。

町長 旧庁舎は過去に地下部分が浸水した。それを踏まえ、新庁舎は、三ヶ所川の計画基準高水を超えていない。地盤が固い。上回って浸水しても、新庁舎の2階より上部で対応はでき、防災拠点としての機能は十分果たせると考えている。



問 今年4月から成人（成人）年齢が18歳に引き下げられます。これに伴う五ヶ瀬町の成人式開催方針について伺います。



おがた やすし
太田保義議員

教育長 今年法務省が公表しました調査結果により、まずと全国およそ8割の自治体が現行の20歳のまま行っているという判断をされています。18歳は受験、就職等進路に関わる重要な年齢時期であり五ヶ瀬町も引き続き20歳の開催を考えています。

問 成年（成人）年齢引き下げにより、種々な権利が認められる反面責任も負うこととなります。親の同意を必要としない契約行為も可能になります。早期から教育、啓発しておくことが必要と考えます。義務教育課程における現状を伺う。



かい よしのり
甲斐義則議員

問 農業経営支援について令和3年は、前年に比べ夏秋野菜の価格が安く低い売上であった。町としての支援の考えはないか。

町長 令和3年のJA取扱実績では前年に比べ減少しており、非常に厳しい状況であり、特に6月から7月頃の出荷期における販売単価の安値に伴い、大変、厳しい状況であったと認識している。本町における支援状況として、は、生産者組織育成や機械、資材など、補助事業による支援を行っている。夏秋野菜など園芸作物の振興は重要な課題であり、生産者からの要望や支援策の提案を頂きたい。



教育長 社会では悪徳商法による被害や多重債務に関する問題など多くおこっております。小学校、中学校においてはそれぞれ学年に応じた細かな教育を行っている。また五ヶ瀬町独自の消費者教育という観点から五ヶ瀬町教育グループビジョンの取り組みがあります。総合的な学習の時間において、肌で感じられる体験学習も行われています。

問 新庁舎では議場に響く雨音、劣化により更新が予想される木製ルバー、昇降に不安を感じている階段等後年度負担が生じることが予想されます。こうした庁舎における維持管理について伺います。

町長 新庁舎建設検討会では、自分の意見を協議いただき、議会新庁舎建設特別委員会でも理解を賜ったと考えています。旧庁舎では耐震基準を満たさず、新庁舎を建設することになりました。外部のルーバーには町産材を利用しています。

問 地方自治法には議会図書室を附置すること、また、議員だけでなく職員や住民も利用できることが明記されている。このため、議会図書室は単独で附置されることが望ましいと考えるが、新庁舎においては議長室に併設されたことについて、どのように検討されたのか伺いたい。

町長 地方自治法で規定する議会図書室については、スペースの規模、そのものを義務化しているものではない。新庁舎建設調査検討特別委員会での協議の結果、議会図書室をある特定の室とせず、固定式書棚で対応するという結論に至ったところである。本町議会においては、他の自治体に先行してタブレットを配付しているの、情報源として活用するのもひとつの案と考える。

問 現在、町単事業として、果樹、畜産、椎茸などには、支援事業が構築されており生産者にとっては、大変貴重な支援であり今後も継続していただきたいと思う。しかしながら、夏秋野菜においては、直接、作物への支援がなく、必要ではないかと考える。そこで、提案であるが、苗代金の全額支援、次に、JA市場に限ってであるが、五ヶ瀬から高千穂までの高千穂から市場までの二重の運賃が経費負担となっている、その運賃などの支援の考えはないか。

農林課長 夏秋野菜の苗代金、運賃などの経費状況確認を早急に行い、ここ数年の販売単価や生産量の動向について、各関係機関からの情報収集を行い、補助事業の内容について協議を進めていく考えである。





さとう せいし 佐藤成志議員

問 貴重な町の財源として増やす取組をする。今後の進め方は。

町長

貴重な町の財源として増やす取組をする。今後の進め方は。

問 五ヶ瀬町は寄付額県内ランキングワースト3位である。その原因は

町長

ふるさと納税創設当初の国の狙いと地方の取組みの相違がある中でルール内で進めてきたが全国レベルとはまだ差がある。貴重

な町の財源として、来年度に向けて寄付額を増やす取組みが必要だと考えている。

企画課長

他の自治体と比較し、その要因としてはポータルサイトへの取組みの年月が浅く、本町の返礼品が全国に浸透していないことと、寄付額に対するコストパフォーマンスの部分にある。

問 毎年ごとの検証は。

企画課長

町独自で検証を行い、次年度の取組みにつな

げてきた。3年度は2月末の実績で企業版ふるさと応援寄付金を含め、合計3,317万円となり、昨年度から約2倍の増加となった。

問 新型コロナウイルス感染症ワクチン追加接種の状況は

町長

全体で2ヶ月の前倒しを行う

問 町内での感染者が多発した。ワクチン接種率は

町長

2月末時点で全体の44.5%が接種。看護師2名から3名体制にし、町民センターで集団接種を実施している。5月16日を完了予定日としている。

問 ワクチン接種のスピードを上げるのは、可能なのか。

接種については保護者への意向調査を済ませており約44%の希望があった。

福祉課長

2回目の接種から6カ月たたないと出来ないの、不可能である。

問 感染に関し、情報が非常に少なく、町民の不安を増幅させている。プライバシーなどの配慮は非常に大切だが、情報の提供に限界があるのか。

町長

基本的には、県からの情報開示は出されないので、実態であるので、町民に発信できない状況である。

問 5歳から11歳までのワクチン接種はどう進めるのか。

町長

本町病院には小児科が無ので、高千穂町立病院にお願いし、4月23日1回目を、5月14日に2回目を実施予定している

福祉課長

接種については保護者への意向調査を済ませており約44%の希望があった。



わたなべ たかし 渡辺孝 議員

問 倒壊や屋根材の飛散する恐れのある、危険な建物に対する、実態把握と今後の対応は

町長

全国的にも大きな課題と認識している。空き家等対策計画を制定し具体的な対策案を提示し進めていく。実態把握については昨年度実施した空き家調査において把握している。

今後は特定空き家等に該当するものについて助言・指導・勧告・命令・代執行と進んでいくと思うが、理想としては、自主的な解決が望ましいと考えている。

問 学校の通学路の安全確保と対策は十分か

教育次長

町の通学路交通安全プログラムを策定し、児童生徒の安全確保を図っている。また、対策については各学校で危険な建物等へ近づかないよう、更に、登下校の際は充分注意する



よう、指導を行っている。

問 鞍岡複合型交流施設の、今後の活用と将来的な方向性は。また、集落支援員・地域おこし協力隊の増員の考えはあるのか

町長

《ぎおんの里づくり協議会》を設立し、運営をお願いしている。また、支援員・協力隊の増員については、活動内容や、事務量に応じた増員する方向で検討を重ねている。

問 施設の事業計画を伺いたい

企画課長

事業計画に関しては協議会で作成される。

問 令和四年からは、指定管理施設に移行したいとの事業方針であるが、その目的と長期的な期待また内容は



ぎおんの里作り協議会役員会の様子

目的としては地域住民の交流の場、並びに研修・集会の場としての施設管理。長期的な期待は「持続可能な鞍岡地区の地域づくり」である。内容は、施設の運営・維持管理・清掃である。

問 三ヶ所地区に、集落支援員・地域おこし協力隊を配置する考えは

町長

地域自主組織の設立に向けた準備状況に応じて、集落支援員を配置し、地域おこし協力隊は、町全体の地域づくりの課題解決に向けた配置を考えている。

五ヶ瀬町議会は

ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議を行いました。
五ヶ瀬町のみなさん、他人事と考えず自分たちの事として考えましょう。

一日も早く平和の時が訪れますように

決議第2号 ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議

2月24日、ロシアはウクライナへの軍事侵攻を行った。このことは、国際社会ひいては我が国の平和と秩序、安全を脅かし、明らかに国連憲章に違反する行為であり、断じて容認できない。
よって、五ヶ瀬町議会は、ロシア軍による攻撃やウクライナの主権侵害に抗議するとともに、世界の恒久平和の実現に向け、ロシア軍を即時に完全かつ無条件で撤退させるよう、国際法に基づく誠意を持った対応を強く求める。また、政府においては、邦人の確実な保護や我が国への影響対策について、万全を尽くされるよう強く要請する。
以上、決議する。

令和4年3月18日 五ヶ瀬町議会



みなさまの声をお聞かせください！！

(例)

○こういう特集を組んで！

○ここが読みにくい！

○議員と意見交換会をしたい！

内容は何でもかまいません。

はがきを切り取るかコピーをして、議会までお寄せください。

(※大変恐れ入りますが、切手をお貼りになるか、議会事務局までご提出ください。)

◎ご意見は次号で紹介させていただく場合もございますので、ご了承ください。

◎氏名等は公表いたしません。情報は議会だより以外には使用しません。

●あなたの年代は？(○をつけてください)

10代 ・ 20～30代 ・ 40～50代 ・ 60代以上

●「議会だより」に対するご意見ご感想

●議会に対するご意見

ありがとうございました

点線で切り取るか、コピーしてご利用ください。

町内巡回を行いました！

町内巡回の様子と町長への報告

*住民の皆様の貴重なご意見を3月7日に町長へ報告させていただきました。

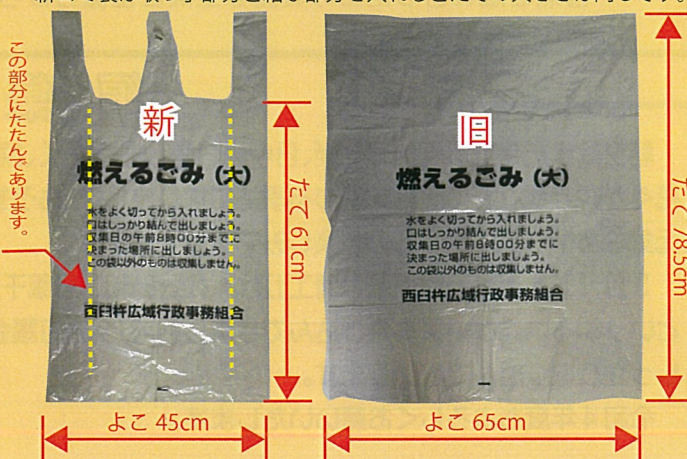


ゴミ袋の問題

ゴミ袋に関しては、現在の袋への変更当初から、多くの町民の皆様からご意見・要望等をお聞きしております。

3月25日に開催された「西臼杵広域行政事務組合議会定例会」において、内容量の拡大・価格の見直しについての検討をお願いしました。住み良い・魅力あるまちづくりを目指すために今後も引き続き要望して参ります。

新ゴミ袋は取っ手部分と結ぶ部分を入れるとたての大きさは同じです。



新ゴミ袋には左右10cmのマチがあり伸ばすと同じ幅になります。

皆様から頂いたご意見の一部を紹介します

総務農林委員長 綾 健一
文教福祉委員長 渡邊 孝

総務農林

- 倒壊や瓦の落下する危険性ある建物・空き家等対策
- 役場内の案内板の検討
- 災害後方支援基地の検討
- 農業後継者不足が心配、農業委託組織が必要では？
- 農地基盤の整備、耕作放棄地・鳥獣害対策の強化
- 除伐・間伐の補助金を個人にも、森林環境譲与税活用
- コミバスを週数回、小集落にも運行をお願いしたい
- お金をかけずに町民が集うイベント計画を
- スキー場、木地屋、ワイナリーの経営に不安がある
- 町道・集落道・農道・林道に関する意見要望が多数
- 水道事業の早期整備をお願いしたい

文教福祉

- 子供医療費負担の後日支払い制度改善
- 通学路沿いにある倒壊の危険性のある空き家対策を
- ゴミ袋が隣県と比較して価格が高く量も入らない、ぜひ改善をお願いしたい
- 病院職員について、患者に寄り添った温かい対応を
- 救急車がないことが不安

その他

- 議員巡回は良い取り組みだ
- 通学路である国道の安全対策（ガードレール設置）
- スキー場の経営改善
- 町職員に頑張って欲しい
- 国道の融雪剤過剰散布では

五ヶ瀬ハイランドスキー場2022シーズン終了

今シーズンは、シーズンを通して天候に恵まれ、素晴らしいゲレンデコンディションの中、営業日を1週間延長して、12月24日から3月13日までの80日間、24,756人（前年比150.4%増）の来場者で賑わいを見せました。

1月26日には、行財政改革特別委員会（全議員）で営業状況調査にお伺いし、矢野宏統括マネージャーより説明を受け、スノーバレーボールジャパン強化合宿の取り組み、九重森林公園スキー場との連携強化など、広報活動の重要性についてもお話を聞くことができました。

コロナ禍の中、町民の皆様をはじめ県内外からご来場いただいた皆様、寒い中、昼夜を問わず営業を支えていただいたスタッフの皆様にご心より感謝を申し上げます。



郵便はがき

8821295

五ヶ瀬町大字三ヶ所 1670

五ヶ瀬町議会事務局 行き

氏名（掲載しません）

ペンネームなど

特集 今どきの若いモン

室野・八重所地区の
後藤康希さん愛さん夫婦を
紹介します。

高校卒業後、共通の友達を通じて、出会いがあり交際に発展し結婚されそうです。

お二人には、奏頼(そら)くん3歳(長男)蒼(あおい)くん1歳(次男)の可愛いお子さんがいらっしゃいます。

二人とも、五ヶ瀬温泉本木屋に勤めておられ、康希さんはウェイター、愛さんは事務の仕事をしておられます。

二人の趣味は、カラオケとボーリングだそうです。康希さんは、野球が得意で現在は室野のパイレーツチームに入っておられポジションはキャッチャーだそうです。ご夫婦共に五ヶ瀬町で行われる色々な行事に参加し、育ててもらったこの五ヶ瀬町に恩返が出来ればいいと話しておられました。



まな
愛さん
(27歳)

こうき
康希さん
(27歳)

お二人の今後益々のご活躍を期待しています。

..... 地域の話題

西臼杵漁協三ヶ所支部



放流状況



告知看板



昨年11月に行われた産卵床作り

2月15日に西臼杵漁協三ヶ所支部では『やるぞ内水面※漁業活性化事業』の一環でヤマメの放流が行われました。

この事業は、魚の産卵床の造成や生息域をいくつかの区域に分け魚を守って増やし、釣り人も増やすこと等を目的とした事業だそうです。漁協のみなさんは、五ヶ瀬の魚を守るために、日々、活動しておられます。

将来、五ヶ瀬の川にたくさんの魚が泳ぐ光景を期待しております。

※内水面とは淡水域の湖沼・河川の総称です。多様な淡水魚介類を対象とした漁業生産の場であるだけでなく、釣り等の遊漁を始めとするレクリエーションを通じて国民が憩い、自然と触れ合うための貴重な空間と位置付けられています。

編集後記

朝夕はまだまだ肌寒いですが、日中は日差しも暖かく、菜の花や桜などの花々が咲き乱れ春の陽気を感じる季節になりました。もうすぐ、新1年生の元気なあいさつが聞けるのが楽しみです。

3月「五ヶ瀬高千穂道路の着工」及び「国道503号飯干バイパスの事業化」という明るいニュースも飛び込んできました。五ヶ瀬町議会は、要望活動にもしっかり取り組んでまいります。

令和4年度もよろしくお願いいたします。

発行責任者

議長 甲斐 政國

議会広報編集委員会

委員長 小笠原 将太郎

副委員長 太田 保義

委員 渡邊 孝

委員 田中 春男

委員 甲斐 義則

